



～看護の魅力を見つける～

## 八雲総合病院一日看護体験が行われました

5月14日、八雲総合病院にて、八雲高校と檜山北高校の学生10名が一日看護体験に参加しました。

学生たちは、それぞれ2名ずつ病棟や手術室に配置され、オリエンテーションを受けた後、看護体験を行いました。各現場では、車いすの乗車体験、血圧測定、電動ベッドの坐位体験、手術室でのガウン着脱体験など、短い時間でさまざまな体験をしました。

今回、体験に参加した学生は医療職を希望し、進学を検討しているとのことであり、学生皆さんの将来のお役にできればと期待しています。

また、同日には、江差高等看護学院の生徒も実習に来ており、模型を使った沐浴の実習風景を見学し、当院の助産師からも分娩室内を中心に説明を受け、貴重な学びの機会になりました。



## 第30回 熊石あわびの里フェスティバル

5月19日、熊石漁協ふれあい広場にて「第30回 熊石あわびの里フェスティバル」が開催されました。

今年は晴天に恵まれ、町内外から多くの方々が来場し、無料で利用できる炭火焼きコーナーでは、購入した活あわびなどの食材を炭火で焼き、おいしそうに食べる姿がたくさんみられるなど、地元産の海産物や農産物などが多くの方に楽しまれました。

ステージショーでは、泊川太鼓の会による泊川豊漁太鼓の演奏や熊石ス Copp 三味線愛好会によるス Copp 三味線ショー、そして八雲町まちづくり応援大使である演歌歌手の和田青児さんによる歌謡ショーなどが行われ、会場は大いに盛り上がりを見せました。さらに豪華景品が用意された「ビンゴ大会」や5年ぶりに復活した「あわびの宝もちまき」により大盛況の催しとなりました。

